

止戈樞要

營陣

六十七之九

農商務省
圖書
第 二九六六 號
共 一 冊 九

大政官文庫		
和	一〇九四四	函架
書	四	冊
門	三	冊

內閣文庫		
和	一〇九四四	函架
書	四	冊
類	三	冊

內閣文庫	
番號	和 10944
冊數	143 (23)
函號	154 28

0 1 2 3 4 5 6 7 8 9 10

A 1 2 3 4 5 6 M 8 9 10 11 12 13 14 15 B 17 18 19

Kodak Gray Scale



© Kodak, 2007 TM-Kodak

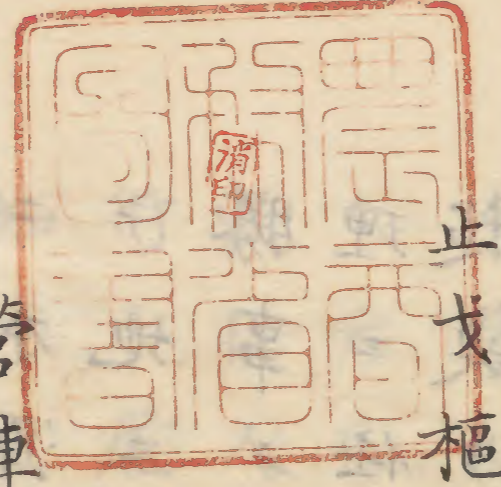


止戈樞要

營陣

六十七

止戈樞



營陣

夫營



也

六大ノ

要卷六十七 師律要略

縱位行佐守丹滌人増業著

一

規ハ地ノ利ヲ得テ堅ク陣

敵ノ進退ヲ險ニ而吾力懸

易ク不敗ノ地ニ營スヘキ

薪草水便ノ利アリト云氏

地ニ陣スハカラス敵戦地

ノ利ニ居ハ慎テ是ヲ避ヨトナリ
兩日トモ陣ヲ營ムナラハ壁壘ニ
而可ナリト云ハリ古法ニハ形ニ
様々有ト云ハ氏地ニ方円曲直銳
高早廣狹アリ人ニ衆寡アリ此故
ニ本源ノ一理ニ叶方円ノ形ヲ用
テ地ニヨツテ陣ヲ儲敵ニヨツテ
勝事ヲナスハ是則屯ナリ其道
理ニ任其宜ニ合テ小ヨリ大ニ至
迄是ヲナスハシ此鬼ヲ弁知シテ

陣營ヲナス時ハ雖衆易ク寡ナリ
ト云氏易シ故ニ陣場ヲ計是ヲ取
敷役人ハ六奉行是ヲ司リ陣場奉
行小屋奉行有リ其役者ノ能可弁
知ナリ
一敵合遠近ニ付虚實ヲ可計事一
敵閤ノ間五里六里有ヲ虚トシ
二里三里有ヲ實トスニ敵陣ノ
迄クニ險ナク吾陣ノ近ニ險有
ヲ虚トス敵方ニ嶮有テ吾方嶮

無ク實トス此故ニ其地形ヲ見
計嶮ヲ取ルニ其心得有テ陣鬼
ヲ定ムハシ谷口傳深シ
陣ヲ取敷ニ九危ノ地ヲ不可用
事一大山ノ麓ニ大谷口三後切
鬼四ニ中窪ノ地五ニ森林際六ニ大
河端七ニ在家跡八ニ墓原九ニ石原是
十リ古法ニハ地形ニ十四ノ變
十五ノ名アリト云ハ氏倭朝ニ
テ如斯地形稀也故ニ約ル鬼ノ

肝心ハ九危ノ地ニ止ト云ナリ
其深昔テ弁知スハシ谷口傳深
陣ヲ取敷ハキ地形ヲ見計ル莫
一ニ水便薪草自由ニ而兵糧運送
ハ手遣イ能クニ敵ノ懸ニハ難
ク吾勤ニ其利有ル地ヲ見積ル
ハシ古法ニ様々地形ノ善惡ヲ
撰ムト云ハ氏其如ナル善地ハ
稀ナル故本源ノ一理ニ叶奇正

戦ノ火見セノ場ニ心ヲ付ヘシ
九ニ人数ノ多少ニヨリ地形ニ心
ヲ付ヘシ十ニ重ク陣スル處アリ
リ軽ク陣スル處アリ十一ニ敵闕
ノ強弱多少或ハ自他ノ國ニ依
テ其差有トナリ各口傳深シ
一所ノ案内者ヲ求其心ヲ傾ケ其
處ノ峻難ヲ能ク尋弁シテ勝ヲ
求ムヘキ事一ニ敵出ルニ重手ノ
武畧ニ其鬼ニテ古ハ軍アリシ

一 趣三敵將ノ行跡國ノ沼様四ニ臣
下ノ心入等ヲ聞届ケ其勝ヘキ
一 鬼ヲ察慮スヘシ口傳深シ
一 右陣營ノ要ナリ將ヨリ役者至
一 迄能ク弁知ヘシテ察慮スヘキ
一 支共ナリ
一 五營ヲ可用支勢ノ多少地ノ廣
一 狡ニヨツテ是ヲ用ヘシ一吾勢
一 寡ナル時ハ小營ヲ用ヘシ二吾
一 衆ナルト云ヘ氏其地狡キ時ニ

ハ大營ヲ用三我衆ニ而其地
廣ク或ハ山嶺ニ陣ヲ張ル時ハ
連營ヲ用ハシ四先手人士大將
相備アル時ハ相陣營ヲ用ユ五
山手ニ陣スルニハ山營ノ法ヲ
以スヘシ
一 陣取ノ形ハ地ニ應而方円ノ形
ニ取ヘキ
一 陣取地割ノ度人数ノ多或少ニヨ
リテ大積坪數ヲ定ルナリ人馬

雜具居之堀土居敷陣屋道迄ニ
不足無シ小屋奉行ハ其地ヲ割
渡ニ法アリ口傳深シ
一 惣構堀土居柵振様ノ度惣構
ニ堀ヲホリ其土ヲ以土居ヲ築
土居ノ上ニ柵ヲフリ或ハ篠垣
ヲ用ユ垣ノ結構有之二事急ニ
テ堀ヲホル間無時ハ柵計ヲフ
リ逆茂木ヲ用足懸ニスルナリ
三 小屋ト惣廻リ垣ノ遠近五七

一 逆茂木場鬼ノ夏一平易ニテ足
町十早十五早迄モ外張ト云十
士居アル也六陣場前後左右五
間三十間モ皆蹴出ト云蹴出ノ
左右ノクツ口キ有五武者夕拂
方或ハ四方其宜ニ随テ明ルナ
九間夏冬ニ心得アリ四虎口三

懸リ無處ニ引ナリニ惣構ノ堀
向ニ引ナリ三堀ノ逆茂木各其
地形ニ依テ用ヨト云ナリ口傳
深シハ武人來ルハキ道筋ニ
一 犬防ノ夏忍ノ來ルハキ道筋ニ
スルナリ口傳深シ
一 小屋割人夏一本陣ヲ中ニ取ハ
シ二先手三二ノ手四脇備五游
兵六小荷駄七跡備八シ下リ備
各一組ニ陣ヲ取小屋ヲ割ハシ

一
口構ノ内ニ門ヨリ出入ノ能ク
一番處造所ノ克一
番所ハ虎口虎
ハシ各口傳深シ
有ハ陣屋道水汲道ノ
廣狹アル
馬ト云ハリ兵七
雪隠ノ作様其法
替ルナリ六馬屋ノ
掛處四季ニ
テ差アリ
向ナリ
五小屋ノ圍四季ニ
幕ハ内ハ本陣ニ
向イ外ハ敵ニ
二重三重ノ差アリ
四諸士私ノ

一
口ヲ明ルナリ
三勢多少ヨリ
谷ヲフサクト
掛ハシ棟ノ方ニ
小屋ヲ造ルニハ
片庭ニ棟ヲ繼
カケハシ
遅々スル事不佳也
二
小屋懸様ノ
克一
陣屋ヲハ急ニ
来ル時戦ヲナ
ス
汰口傳深シ
敵寄
右ニ分レテ陣
營ヲ取ハシ
敵
士大將
其備ノ割付ノ
如前後尤
小營ナリ
大營ノ時ハ
先陣二陣
是ハ旗本
先手二手
各一陣
取ノ

所ノ事三虎口ノ明ケ様四ニ出
仕處臺所馬屋三方ニ造ナリ五
見セ櫓太鼓櫓大竹ツホサマノ
夏六櫓井樓ニ敷ノキサ三ノ夏
七本陣ノ御近所ニ小屋掛ル衆
ハ近習番組小姓衆小納戸衆大
納戸衆吐衆醫師衆臺所衆賄衆
膳部役者出家方馬屋別當忍者
同明猿学大工金堀ノ類大昔如
斯是ヲ以了知シテ用捨スヘシ

一
見エル鬼ニ造ルナリニ本番所
ノ後ニ算ノ番鬼アリリ三夜廻交
代ノ番所造リ處アリ四大軍ノ
時ハ其地形ニ依リ所ニ番處
ヲ造ヘシ五番所ヲ造ニ物陰ノ
守リ番ハ夏冬ノ差アリ各口傳
深シ
一本陣取堅様ノ夏一方
地形次第堀ヲホリ廻シ土居ヲ
築柵ヲフルナリ二内モカリ番

一
 行五跡備六照備七游兵八旗本
 組如此十リ水ヲ汲ヲ取ル作
 法モ如斯
 右各陣營ノ拾式ナリ其大概ヲ
 兵知而臨時應変シテ宜ニ合テ
 是ヲナスハ各口傳深シ
 陣ヲ取敷時諸軍行列ノ更一三
 者ヲ誥リニ出シ其不意ヲイ
 トフハ軍ノ勝敗ハ將ノ勇臆
 智謀ニヨル物ナレ共大方ハ不

一
 陣中水求様ノ更一ナリ
 ラハ川水ヲ汲シ二寄ニ陳クナ
 ハ谷水或ハ瀧ノ流ヲ汲ナリ
 永陣ノ時ハ井ヲ掘ヘシ故ニ其
 水筋ヲ弁知而是ヲ掘ル時ハ人
 夫ノ力不入而水ヲ設ル物ナリ
 口傳深シ不入而水ヲ設ル物ナリ
 小屋具可取次第ノ更一先衆二
 一手三ニシテ
 二
 奉行陣スルナリ

意弓キニテ利ヲ失物ナリ二諸
軍備ヲ立堅敵ニ向フ如ニ而人
夫ヲ以陣ヲ取スルナリ小屋
入ヲスルト云氏食セサル内兵
具脱ヘカラス四食ヲ服シル兵
ヲ脱ニ法アルナリ兵法曰軍井
未達將不言渴軍幕未辨將不言
倦軍竈未炊將不言軍幕未辨將
夏不操扇兩不張蓋ト云ナリ口
傳深シ

一 一
小屋ハ入次第ノ事一小荷駄二
先備三二午四照備五旗本組六
游兵七跡備八シ備如斯正
兵ハ正面ノ門ヨリ入ルナリ
兵ハ左ノ門ヨリ入ルナリ口傳
深シ
小屋ヨリ戸張ヘ推出ス次第ノ
一 芟一先備陰ハ正面陽ハ左ノ門
ヨリ出ル也二三ノ午三照備四
棋本組五游兵六跡備七小荷駄

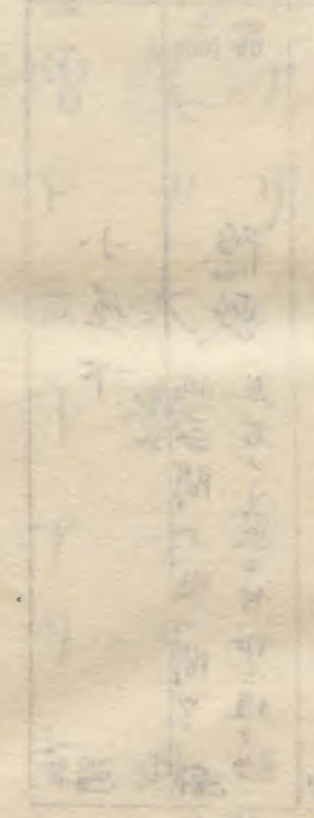
御馬駿向ヒ御持鎗ヲ立ルナリ
リニ御幕前ニ左ニ惣円居右ニ
ホリ長柄ヲ取入旗竿計立ルナ
ノ番有ヘシ風兩ノ時ハ旗ヲシ
ナシ宜ニ任スヘシ旗番長柄
ニ長柄ヲ立テ方ニ立ルナリ向
リ旗竿ノ外ノ方ニ立ルナリ向
ヒ繩ノ結目外ノ方ニ立ルナリ
九十一本木ヲ立テ横木三通結
ニカサルナリ

左陣屋莊嚴支一本陣ノ外構ノ内
ニ圍ヤ正門ヨリ出給フナリ
ヨリ出シテ歩武者ヲ前後左右
ヲ其備割ノ如ニ正面左右ノ門
照備出終テ足輕近習番組ノ士
シ様先備之如シ大將軍ハ一
ハニ下リノ備如此門ヨリ推出

一 陣營ノ四丁四方ヲ蹴出ト云大
 概人声ノ聞ユル程ノ処ヲ云ナ
 リ外張トハ陣營ニ急ヲ告ル番
 小屋十リ蹴出ノ外ハスハ陣
 營ヨリ十四五里ノ処ニ設クハ
 シ 營土懸リヲ量スル時ハ大小ノ陣
 一 營土ノ平原屈曲ニヨリ増減
 スル自然ナリ其込如左

千貫高一万石二町半懸十二間ヲ一里トシ
 方廿七間
 右隱敷トモ方三十一間兩方二
 間ノ隱敷アリ内方廿七間ナリ
 是相陣ニ取ルハシ
 五千貫五里半懸方六十三間
 一萬貫八里懸方九十二間
 二萬貫十二里懸方百四十間
 三萬貫ヨリ以上ハ右ノ割ヲ以
 テスレハ可知然氏人数多キ故

一 陣營ノ道路ノ幅八五間小屋下
久 二間隱敷三間卜割合ス也



止戈樞要卷六十七終

止戈樞要卷六十八 師律要畧

縱位行佐守丹滌人增業著

營陣二

一天一生水之拾

